

ちばりんりん／2019 秋

2019.09.30 発行 千葉県サイクリング協会（CCA） 第 112 号



榛名湖の紅葉: 鈴木龍児

この度の台風 15 号により、会員の皆様、地域の皆様におかれましては多大な被害とご不便を被りましたこと、CCA としても心よりお見舞い申し上げますとともに、一時も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

なお、ツール・ド・ちば 2019 は復興支援ならびに復興状況の発信を目指し、一部コースを変更して予定通り開催されることになりました（2019/9/20 現在）。

報 告

- ◆**対外活動**：
 - ・太平洋岸自転車道千葉地区のコースを CCA 有志により試走（9 名）。2019/6/1～2 ならびに、試走結果に基づく提言書を千葉県に提出 2019/6/24
 - ・サイクルモード出展に関わる出展意向の調査、協議（県、JR ほか）。2019/6/4 ほか
 - ・千葉市自転車活用補助事業（千葉市道路部自転車政策課）への企画、応募。2019/6/13
 - ・ツール・ド・ちば実行委員会に出席。2019/6/17、9/20
 - ・館山市に「南房総のサイクルツーリズムの推進について」の要望書提出の協議。2019/8/14
- ◆**協会活動**：
 - ・定例理事会（2019/8/4、9/8）、支部の活動は、支部の HP を参照してください。
 - ・定常業務のほか、HP の整備、サイクルモードの企画についての対外折衝、サイクリングイベントの現状についてのスポーツエントリー他との意見交換、など

2019 年度後半 イベントスケジュール（申し込みはスポーツエントリーから）

月	日	行事	締め切り	開催地
10	12～13	ツール・ド・ちば 2019 Stage1：木更津～鴨川～木更津 Stage2：木更津～君津～木更津	—	千葉県木更津市
10	20	千葉県栄町 住民活動ふれあいまつり（10:00～15:00）	—	栄町ふれあいプラザさかえ
11	2～4	サイクルモード・インターナショナル 2019（CCA は今年度は出展せず）	—	千葉市幕張メッセ
1	5	成田山新勝寺 初詣と懇親会	未定	
2	16	春いちばん！ 南房総里山里海サイクリング	未定	

イベント報告

CCA センチュリーライド
栄～銚子～栄 2019 報告

これまで14回続いてきた銚子センチュリーライドは今年、“CCA センチュリーライド栄～銚子～栄 2019”と名称を改め5月26日(日)に開催しました。早朝に集結した300名のライダーが6時45分、栄町のキャラクター龍夢(ドラム)くんが見守る中、号砲とともにスタートしていきました。

コースは栄町の田園風景を後にし、さつまいもの“紅小町の郷”道の駅くりもと(CP1)で一休み。北総台地のアップダウンを抜けたら利根川に沿って東へ走りました。銚子港を過ぎて犬吠埼灯台を回り、急坂を上ったところにある地球の丸く見える丘(CP2)ではスイカが参加者を待っていました。展望館(参加者には特別入館券配布)に登ればまさに地球がまるく見える330度が海原という絶景も楽しめます。CP2を



出るとすぐ、屏風ヶ浦の絶景が見え、巨大な発電用風車の並ぶ丘を降りて九十九里ビーチラインを走ったあと、お米や自然薯が有名な多古町のあじさい公園(CP3)に向かいました。ここからはまた北総台地のアップダウンが続き、栄町でゴール。

今年も栄町から栄町でとれた美味しいお米 2kg が厳正な抽選の上、24名の完走者に贈られました。

出走300名中、295名が完走されました。今回は(株)大塚製薬工場からOS-1ゼリーを提供いただいたおかげか、熱中症による救急車の出動要請もなく、大した事故もなく、無事終了することができました。参加された皆様お疲れ様でした。

当日の写真が CCA ホームページのリンクから閲覧できます。是非ご確認ください。

来年は6月7日(日)開催予定です。

(実行委員会 森 浩文)

 太平洋岸自転車道千葉地区の試走報告


太平洋岸自転車道整備計画は、地域振興やインバウンド需要や健康増進を目的にした自転車活用施策として、オリンピック・パラリンピックまでに銚子市から和歌山市まで太平洋岸沿いに1400kmを自転車道として整備する事業です。

整備事項としては、①コースに概ね100m間隔での矢羽表示、②およそ30km間隔のサイクルステーションを作り53次とする、③ICTを活用したコース情報、観光情報の提供、とされています。

千葉県内では、銚子から浜金谷までの220kmを、右図の既存の大規模自転車道、国道・県道が計画されています。銚子市と館山市が主要な基地「サイクルオアシス」に指定される予定です。



太平洋岸自転車道の試走の概要

千葉県内のルート案が設定されたことを受け、この度、CCA の有志 9 人により試走し、サイクリスト目線で問題点等を洗い出しました。

期 日：2019 年 6 月 1 日～2 日

コース：1 日目：銚子→御宿 約 100km

2 日目：御宿→浜金谷 約 120km

メンバー：佐藤会長、岩間理事長、地引、森、勝河、小菅、新井、上村、矢代

<1 日目>

輪行で銚子駅に 10:00 集合、実走 5 人、伴走車 1 人。計画ルートのみでなく、お勧めルートも走る。

飯岡からは問題の大規模自転車道の砂に埋もれた所の状態などを再確認する。白子町からの自転車用に指定されている歩車道や有料道路脇の自転車道などを確認しつつ、16:30 頃に御宿の民宿に到着。

宿で合流 2 人を含め、8 人で豪華な舟盛りを食しつつ反省会を行う（当試走会は全て自費です）。

<2 日目>

伴走車 2 台、実走 7 台で 7:00 御宿出発。自転車道として計画されているトンネルの続くルートでなく、お勧めの絶景の海岸沿いを試走する。白浜、館山は CCA のイベントで馴染みのあるルートで先を急ぐ。

しかし、富浦から浜金谷までの国道 127 号は最悪のトンネル連発地域で、慣れている者でも緊張する所であった。そして、14:45 浜金谷フェリーターミナル、15:00 浜金谷駅にてフィニッシュとした。



おせんころがし

<試走にもとづく報告書提出>

大きな問題点は以下の 3 点である。

- ① 砂に埋もれた自転車道の抜本的対策とメンテナンス施策が必要である。
- ② 計画ルート以外にサイクルツーリズムの観点からお勧めルートを設定すべきである。
- ③ トンネルが連続する区間、危険な区間について、自転車用の対策を実施する必要がある。

これらの主要な項目のほか、分岐点のルート設定や安全対策などについて、2019/6/24、レポートとして太平洋岸自転車道推進千葉地区協議会に提出した。当レポートは実施計画組織で情報共有されている。

今後、ルートが Fix され、施工されるとともに、地域振興策も各地で推進されるものと考えられます。CCA として千葉県のサイクルツーリズムの推進に協力していく方針ですので、ご協力お願いいたします。

(写真：森浩文、文：矢代嘉郎)



砂に埋もれた大規模自転車道



勝浦のトンネル／海岸の分岐点

銚子港の危険な交差点



サイクルツーリズムの観点からの CCA 提案ルート



走りにくい大規模自転車道歩車道

サイクリング随想

ロードバイクで 台湾一周【臺灣環島】ツーリング : その2

三連勝クラブ・シニアチーム 65～78 歳爺々 5 名の台湾環島

佐藤明弘 西堀常政
高安 稔 小坂忠久
高野康之
竹内啓治 (国内サポート)

2. 計画・準備

台湾一周ツーリング準備計画は、2019年1月8日にスタート。まずは皆で集まり、ツーリング計画概要策定の為に列挙した必要項目を確認し、決め事を一つ一つ把握～合意の流れで話し合った（以下に記す）。

- (1) 参加予定者：5名、出発まで事故なしを誓う！
- (2) 健康状態：各人の持病・膝腰等の弱点・服用中の薬など情報共有。
- (3) 期日・期間：航空運賃・旅程を勘案して3月14～25日の11泊12日間に決定。
- (4) パスポートの手配
- (5) 航空券の手配：日程・パスポート出来次第手配する。8万円/人。
- (6) ツアー方式：旅行業者か手作りか検討した結果、金銭面で約1/3の手作りにする。
- (7) 日程・行程：台北発反時計回り10日間、移動日2日間。台湾交通部観光局発行「台湾一周サイクリングガイド」参照する。
- (8) 宿の手配：確実に宿泊を確保の為、ネットで事前予約。一日の予算(宿・昼食・晩飲食)を8千円/人に設定。宿の手配は、Booking.com で予約し、自転車置き場も確保。
- (9) トレーニング：チームフォーメーションとしてロングライド2回実施。声掛け、停止時の立ち待ち、右側通行の意識強化。
- (10) SIMフリーカード購入：中華電信 \$800/15day 電話番号・250分無料通話含む。日本で手配。
- (11) 服装・主要携行品・自転車整備、全員集合して輪行パッキング(203cm以内)、チューブエア抜き。
- (12) 服装予備：洗濯は2日に1度として上下予備携行。
- (13) 蚊対策：スプレー1本携行(結果的にダニ被害あり)
- (14) トイレ注意：トイレトペーパーは備品バケツに捨てること。
- (15) 航空会社：日本航空JAL 東京羽田⇄台北松山。
- (16) その他：台中ジャイアント工場見学(日程上今回は見合わせる。)

フロントバッグ、サドルバッグも手配し、実際に荷物の負荷を掛けた状態での走行トレーニングを重ね、ハンドルの重さやサドルバッグの取付固定方法など、

トレーニング実践で慣れていった。また自分ではわからない走行中の動きなど、チーム走行ならではのアドバイスや意見交換により、チーム一丸楽しみながら絆を深めることが出来た。結果として全員の五感で危険回避に貢献し得る意思の疎通が必要不可欠なのだ！そして美味しいものに会い、皆で食べて笑顔弾ける！

なお、航空運賃付帯料金の改定があり、購入をギリギリに遅くして不意の棄権によるリスク回避し、ネット購入は2月23日となった。台湾入国審査も事前ネット申告によりスムーズな入国を期した。またフリーSIM購入も事前登録をして現地時短を図った。

3. 往路移動：前日・当日

<前日>

3月12日にパッキングした自転車、出発前日の13日に全員集合して荷解きとなった。手荷物として預けるため、コンパクトにすることと、破損防止の為リアディレーラーとペダルを外すことにする。因みに規格外荷物の場合 JAL で片道1万円の追加料金になる。

パッキングの様子



<当日>

3月14日早朝、我孫子・柏・松戸地域の我々には16kgにもなる輪行袋を担いで移動するのは正直堪える。JAL097便8:35に間に合わせるため千代田線の始発に乗車したが、混んでいることにびっくり。

あとは手荷物の自転車を預けてしまえばこっちのめんど！何やら戦闘態勢の5人、チェックインカウンターでメジャー片手に待機している男性を遠目に見ながら、ここまで来たら気楽にいこうとチェックイン！カウンターレディと歓談しながら無事チケット受領し、走者一掃満塁ホームランの気分。小腹が減り、機内食を



楽しみにして搭乗カウンター脇のベンチで高野持参の軽食にありつく。パスポートの携帯管理には細心の注意を払う。海外旅行の基本であるが、自転車ロングツーリングの落とし穴を何度も経験している爺々ならではの留意事項だ。

B787 097便は東京羽田空港を10分遅れで離陸。台北松山機場にほぼ定刻着陸。まずは、空港で各人7万円を台湾ドルに両替する。その後SIMフリーチップを購入してネットと電話の情報ツールを確保完了。

空港建物外で自転車組み立てに入る。これから11泊12日の台湾一周の長い旅が始まる！右側通行以外いつもと変わらぬ旅立ちだ！



松山機場前

移動日の今日は台北の交通事情に慣れるため、10 km程の市内観光をして第1日目の宿へ向かう。まずは最終日に泊まるホテルへ行き、梱包材を預かってもらうことにした。空港の観光案内のスタッフに問い合わせをして頂き、ホテルに快く引き受けてもらった。

さて、旅の始まりは、台北市内名所旧跡巡り。ここで、市内交通事情と右側通行の慣熟走行だ！大通りは三車線＋スクーター・自転車走行レーンがあるのだが、とにかくスクーターの通行量が多く、ビュンビュン飛ばしている。しかも、路線バスの往来・停車が激しい。早速皆で声掛けしながら街中を走る。

すると、交差点では直ぐに様々なバイクの運転者から声がかかる。中にはバイクのステップに愛犬を乗せて走っている人も。う～ん、やはりここは台湾・台北だ！また、ママチャリの多くは歩道の自転車通行帯を走っている。台湾一の大都市台北は、やはり走りづらい。これが第一印象となった。

初日は西門近くの台北漫遊旅店というホステルに宿泊する。夕食は龍山寺から夜市へ…。



中華民国総統府前



今回のバイクパッキング

4. 第1日目(3/15 金) 台北→新竹 92km/102km

台北の早朝5時、昨夜来の雨がホステルの窓を叩く音で起床。旅の間5時起き6時半出発の決め事だ。

台北～新竹 80 kmの行程だが途中の寄り道見学とコース変更や間違いの距離を10%足して行程を立案している。

台湾一周ツーリング初日、早速雨具着用してスタートを切る。午前中には止む予報、心も軽やか！ 06:40、コンビニで買ったパンで朝食を済ませて出発する。

台湾三大河川の淡水河 CR(サイクリングロード)へ出るため西門から北上し、民生西路西端から河川敷道路に出る。平日の所為か他に自転車が走っていない。分岐路が何か所もあるが、標識が少ない為、3か所でルートミスしながら三峡老街手前まで河川敷 CR を走る。ツーリングの醍醐味は道を間違えながら進むことにあることを全員了解済み！それでも快適な河川敷 CR だ。

スタートから 26 km付近有名な観光スポット三峡老街に出る。日本統治時代に栄えた英国式赤レンガアーケードの街並み。大変残念だったが今回はパスして、次の大溪老街を訪ねた。そこで思いもよらぬ出会いをした。大溪老街は淡水河の上流が大漢溪と名前を変え、その右岸の風光明媚な高台にある古都だ。観光客の少ない赤レンガアーケードの和平路を西へと進むと大漢溪を望む高台の手前に福仁宮という大きな寺院がある。敷地も広く堂々としている。

寺院で台湾の人々の溢れる善意…2011. 3. 11 復興支援！に感謝の参拝をして地元の方々とコミュニケーションを重ねる内に、この寺院を管理されている大溪老街組合長の方に会った。とにかく親切。ちょうど昼食の時間となり、ご厚意で地元一番の美味しい大衆食堂へ案内して頂くことに…。

そこで、思いもよらぬ出逢いをまたすることとなった！



大溪老街入口



大溪老街 福仁宮

なんとなんと御歳百歳になるご老人を紹介していただいたのだ。日本人として先の大戦を経験し、見事な日本語を操り、まだまだカクシャクとして歩く！然も、電動スクーターに跨り街を案内すると仰る。この偶然の出会いが、日本と台湾の深いつながり、更には共通の情緒や意識を再認識する機会となった。百歳の御大に街の誰もが温かい眼差しで声をかけ、挨拶している様子を間近に垣間見て、心が和んだ。既に小一時間経過していたが、御大の後について大溪中山公園内の灯籠が残る日本の神社跡や、旧警察官舎の日本建築平屋建てを改装した日本統治時代の資料館などを訪ねた。初日から、まるでタイムスリップしたみたい。一同後ろ髪を引かれる思いで大溪老街をあとにした。有り難うございました。

大溪老街から台3線に戻ったのはいいが、ミスをしつつ環島1号に乗り、アップダウンを繰り返しつつ高原道路に入る。交通量がほとんどなく快適な道で、見渡す限り高原野菜やお茶畑の中のアップダウン、長い下り坂を経て、115号線から118号線に復帰する。

17:02、予定より約1時間遅れて新竹駅南東約600mに位置するBlowin' in the Hostelに到着した。自転車置き場は玄関わきのスペースに収納。オーナーは若い琵琶奏者の好青年。シャワーと洗濯を済ませ表通りの食品路にある鳥鍋の店へ！帰宿後宿のキッチンスペースで反省会。しかも、オーナーに琵琶の演奏を披露して頂いた。

5. 第2日目(3/16土) 新竹 → 台中 122km/224km

5時起床！どんよりとした曇り空。06:40 出発。この時間の新竹市内は台北とは打って変わって交通量が少ない。食品路を通り、中華路4段から台1線の環島1に入る。そのまま新竹西海岸線の風情海岸護岸へ、西部濱海快速公路61線のスクーター・自転車ラインには乗らず、海岸線CRを走行する。地元のロード乗りはほとんどが61線を走行している。5爺は景色の良い海



御歳百歳の御大との出会い

台湾の道路標識区分について： 国道(高速道路)は国花である梅の花。省道(日本の国道)は、台1線とか台3線と呼ばれる。自転車走行時に必ず必要な標識は「二段階左折」の標識。道幅の広い交差点は必ずこの二段階左折です。慣れてくると自然に目に入る。道路上には待機場所の四角い柵形表示がある。

環島1号線の道路標識



岸線CRを快走する。61線に出て地元の若いロード乗りと意気投合！

9:05、40km付近、皆で撮影後、海岸線に延びる高台の好望角へ向かう。平均斜度10%のヒルクライムだ！最高の見晴らしと風力発電の巨大プロペラと遥か台湾海峡を見張るトーチカ跡。大陸との歴史が刻まれている。ここで焼いたソーセージをパクついて環島1号線へ戻る。なるべく旧道に入りながら、寺院をお参りしたり、食堂に入ったりと地元ロード乗り達に出会いながら台1線を進む。露店の「ちまき」にありつき、なんと日本ではお目にかかることのない「たにしの醤油漬け」の珍味を食したり！ツーリングの楽しみが如何なく発揮されて爺々の面目躍如。難点は時の経つのを忘れることか！処々本線を外れて街中を通りながら地元の賑やかな祭りに出くわしたりして走行距離が伸びていく。

台中市内北西側は丘陵地帯。遠巻きに台1線を走行して台中南西を通る台1乙線通称中山路三段に入っ



61号線にて地元の若いロード乗りとともに



Blowin' in the wind Hostel 新竹

たのだが、途中の分岐路から本線へ入る経路がわからず苦労した。

予定より 10km 程オーバーして台中市内中心部手前まで来た。というところで、なんと頼りの地図タブレットの電池切れ！住所も電話番号もわかるが、肝心のタブレットが使えない。静かな交差点で 5 分程対策会議。ここは地元の住人に助けてもらおうと、幾人もの人が通り過ぎる中、信号待ちのスクーターの仕事帰り風のお姉さんに声を掛けた。大変親切な方で、近くの見知らぬ男性にスマホで場所を確認してもらい、スクーターで道案内までして頂いた。2 日目も台湾の人に助けられる、忘れがたい出会いとなった。

18:05、台中駅から 300m 程北西に位置する backpacker's Hostel に到着した。パームツリーの街路樹がある素敵な通りに面している。早速女性オーナーが出迎えてくれる。各人シャワーと簡易洗濯を済ませ、夕食外出へ。ぐるり一回りするも繁華街にはピンとくる食堂がなく Hostel 前の煮込み総菜屋さんでおご馳走！店外のテーブルに陣取り、ビールは前のコンビニ購入 OK。地元民のような夕餉となった。今日の旅路を振り返り、話しは尽きない。22 時就寝。

6. 第 3 日目 (3/17 日) 台中 → 嘉義 106km/330km

6:35、台中の Hostel を出発。昨晚到着時の喧騒はまだない。市内の見所もあるのだが、早い時間帯に市街地を抜けることにした。

ツーリング 3 日目で緊張も解けたこともあり全員少し疲れが見え隠れしている。日曜日ということもあり大型車の交通量は少ないはずだ。今日の予定走行距離は 100 km なのでペースを落として、途中のこれと思う食堂食べ歩きに時間をとることにした。

台中南西を流れる烏溪という川を渡ると次第に田

畑が所々に増えてくる。日本統治以前の台中付近は、タカオス族・パボラ族・パゼッヘ族・ホアニャ族・パブザ族等周辺 5 部族の地域に分かれていたとのこと。そして、日本統治時代に日本語が共通言語として、話されてきた事実がこの島国に大きな変化をもたらしたことの名残りに触れる機会を、この旅を通じて感じることになる。

8:50、26 km 付近道路の向かい側の看板が目に入る。火ヘンに廣と肉…豚肉のことらしい、つまり豚肉飯のお店発見。覗くと中は結構広く、お姉さん二人が切り盛りしている。迷わず中に入るとたまらなく良い香りがしていて最高！野菜のスープも付いて 80 元…約 320 円！ゆっくりと完食、満腹になった！

実は今日予定の彰化八卦大仏のヒルクライムをパスした！これから「のんびり旅」台湾の食を満喫するぞ！史跡も良いが…地元の人たちに触れて心を通わせることも旅の大きな目的だ。

次の見所の田尾公路花園、日曜日ということもあり、園内イベントで大勢の人だかりができています。そこを避けて奥に進むと、園内専用変り種レンタル自転車屋さんが客引きをしていた。凄い数の観光自転車が倉庫に並んでいる。さすが台湾！ジャイアントのお膝元だけのことはある。



11:30、500km 地点で濁水溪に架かる赤色の西螺大橋まで来た。全長 1939m、日本統治時代に 32 本の橋脚が完成したが、大戦後アメリカの支援を受けて 1953 年に完成した。ゴールデンゲートブリッジに次ぐ当時世界第 2 位の長さを誇る大橋だ。古いということは狭い！自転車には要注意の大橋でもある。当時東アジア最大の架橋ということで慎重に渡ることにした。

(次号につづく)

注：編集の都合により元原稿を一部カットさせていただいています





私のこの一枚

昨年8月末、夕暮れも早くなり始めた浦安での光景。ブルベで戻って来る主人を迎えに行った時、ゴール地点が分からず何回も同じ道を行ったり来たり。結局迷子になってしまい、半ベソかいてフッと空を見上げると、そこに大きなイルカが！とても気持ちよさそうにプカプカ浮いていました。何だかそれだけで元気が出てきました。

西部支部 綿貫けい子

ニュース

「千葉市自転車を活用したまちづくり」 補助事業に CCA 案採択される

CCAは標記補助事業を受けるべく右記の事業構想を申請してきました。この度8/28、当企画構想の採択が決定されました。

当イベントは、将来的には千葉市におけるサイクリングフェスティバルへの発展を目指す布石として、またCCAの社会的役割をイベントの形で実践する機会と位置づけています。

千葉市としましても、安全、健康、環境改善などを目的としたまちづくりに自転車活用施策を打ち出し、推進していくように見受けられます。

CCAとしては、公的機関から助成金を受ける初めてのケースになりますが、会員の皆さんならびに協力ショップのご協力のもと、成功させたいと考えています。

詳細は今後煮詰めることとなりますが、まずは速報まで。

千葉市自転車フェスティバル（仮） 【始めよう！安全・健康・楽しいサイクリング】（仮）

期日：2020年3月1日（日） 10:00～17:00

会場：千葉市花見川緑地交通公園（予定）

対象：自転車に関心のある市民ファミリー層、子供
CCA会員、一般サイクリスト

実施内容：（企画案）

お祭りのように同時並行して実施。CCA会員レベルのみでなく、市民、子供をも対象にする。

- 1) 講演会 主題：安全、健康とサイクリング
講師：未定
- 2) 屋内展示 パネル
各種自転車、機器、等
- 3) 屋外実演 自転車メカニック、など
自転車乗り方教室
（交通安全、テクニク、など）
e-bike等の試乗など

編集係より：皆さんからの写真を募集しています。必ずしも掲載されるとは限らず、また無料でのご提供をお願いしています。

① 表紙に掲載する季節感のある写真 ② サイクリングに関わる「この一枚」の写真（若干の説明付き）。

編集委員会の設立

2019年度より、ちばりんりんの編集委員会を立ち上げました。

編集委員会：主査 矢代 嘉郎 副主査 澤西 和文

委員 綿貫けい子（西部） 大熊 義則（東部）

原地 千穂（北部） 新井 千之（南部）

山崎 和也（中部）

編集後記

発行者 〒294-0233 館山市大神宮 1393

千葉県サイクリング協会

理事長 岩間康徳 電話 090-6167-1358

編集者 矢代嘉郎 電話 080-5429-9299

yas846yos446@gmail.com